

令和5年度学長の業務執行状況の確認について

令和6年2月5日
学長選考・監察会議

学長選考・監察会議は、広島大学長の業績評価の実施に関する申合せ(平成26年6月10日学長選考会議決定)第3に基づき、下記のとおり令和5年度学長の業務執行状況の確認を行った。

記

1. 経過

(1) 令和5年度第1回学長選考・監察会議(R5.9.14)

令和5年度学長の業務執行状況の確認の実施方法、スケジュールについて、検討を行い、学長のヒアリングを中心に実施することとした。併せて、学長のヒアリング資料となる学長の業務執行状況の確認の報告書及び監事からの意見書の様式の検討を行った。

(2) 令和5年度第2回学長選考・監察会議(R6.1.25)

学長のヒアリングを実施した。

2. 確認内容

○ 大学のビジョンの周知等について

学長としての8年間の取組みを踏まえ、3期目にあたっての所信表明を行い、広島大学が目指す方向性を教職員へ示していることを確認した。

また、「第4期中期目標期間における広島大学のあるべき姿」の実現に向けて、広島大学が重点的に取り組む5つの事項を「President 5 Initiatives for Peace Sciences—新しい平和科学(安全・安心を実現する「創る平和」)—」として令和5年5月に策定し、同年7月には学外に公表していることを確認した。

○ 大学改革に向けた取組について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構「令和5年度大学・高専機能強化支援事業『高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援(ハイレベル枠)』」への選定や、文部科学省「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業」への採択など、組織整備や研究力強化に向けた取組が行われていることを確認した。

また、「全国Town & Gown構想推進協議会」を令和5年10月に設立し、Town & Gown構想の全国展開に取り組んでいることを確認した。

○ ガバナンス体制について

国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等について、全ての原則が実施されていることを確認した。

○ 対外的取組について

世界から学生・教職員を招聘し、本学学生とともに、多岐にわたるテーマのサマープログラム及び会議等を行う「Peace Study Tour」を令和5年8月に開催し、平和に関する取組を展開していることを確認した。

○ その他

令和6年能登半島地震への対応として、災害対策本部を設置し、本学構成員の被災状況を確認

認するとともに、必要な支援策や学生の修学上の配慮を行うなど、迅速かつ様々な対応がなされていることを確認した。

3. 確認結果

学長選考・監察会議は、令和5年度学長の業務執行状況について、上記確認内容のとおり、学長の業務が着実に執行されていることを確認した。